

会 議 録

1 会議名

令和2年度 第7回春日区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 協議事項（公開）

① 地域活動支援事業（追加募集分）の審査に係る個別質問の確定について

② 今後のスケジュールについて

3 開催日時

令和2年10月7日（水） 午後6時30分から午後8時まで

4 開催場所

市民プラザ 第3会議室

5 傍聴人の数

3人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：阿部一博、石田秀雄、板垣勝雄、市川 優、太田一巳（会長）、岡本重孝、白濱昭博、田中裕子（副会長）、谷 健一、藤田晴子、本多俊雄、丸山佳子、山田 孝、吉田 実（副会長）、吉田義昭、鷺澤和省、渡邊康子、渡部忠行（欠席2人）

・事務局：中部まちづくりセンター 本間センター長、藤井係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【藤井係長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【太田会長】

・挨拶

【藤井係長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【太田会長】

- ・会議録の確認：田中副会長に依頼
協議に入る。次第 3 議題「(1) 協議事項」の「① 地域活動支援事業（追加募集分）の審査に係る個別質問の確定について」、事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・資料 1 に基づき説明

【太田会長】

今ほど説明にあったように、今回の追加募集には 3 件の事業提案があった。本日はまず、質問事項を 1 つの事業提案につき 5 問までにまとめ、その後、審査・採択を行う第 9 回地域協議会の日程を決定したいと思う。日程については、質問事項がすべて決定してから調整する。

まずは 3 事業の質問事項の取りまとめを行う。各自、事前に配布された提案書に目を通して思うため、質問事項を挙げていただき、前のホワイトボードに事務局が記入する。

では協議に入る。最初に「春-追 1 春日地区青少年剣道育成事業」の質問事項について、発言を求めたいと思う。まず参考資料を確認してほしい。共通質問として、当初募集と同様に新型コロナウイルス対策についての質問が、No.1、No.2 となっている。この共通質問については、3 事業すべてで質問したいと思っている。その他、個別質問として最大で 5 つまで挙げたいと思う。質問事項について意見を求める。

【田中副会長】

質問事項ということではないのだが、「春-追 1」について、団体が「中央剣道スポーツ少年団」とある。自分は剣道のことは詳しくないのだが、団体の団長が春日地区の人なのか。また春日小学校が活動場所となっているが、活動場所というだけで提案されているのか、小学生・中学生等メンバー構成も分からないため、この団体について知っている委員がいれば教えてほしい。

【藤井係長】

あらかじめ確認している部分もあるため回答する。この団体の成り立ちとして、昔は高田と直江津にそれぞれ剣道のスポーツ少年団があったが、その間の春日地区周辺

にはなかったため団体を作ったとのことである。稽古の場所として高志小学校の体育館を借りていたようである。現状としては、団員を春日区に限っているわけではないのだが、現在通っている子どもは高志小学校、春日小学校、春日中学校の生徒のみとのことである。

【太田会長】

それも踏まえ、質問事項について意見を求める。

【鷺澤委員】

基本的な問題であるが、提案書には昭和 57 年度より活動を始めたと記載されており、かなり長い間活動している。その間、活動をしていく中で必要な物品等もあったと思うのだが、自分の知る限りでは、これまで地域活動支援事業に提案されていない。しかも今年 4 月の当初募集にも提案されずに、今回の追加募集で提案されている。これまで提案しなかった理由は、どういうことなのか分かれば教えてほしい。

【太田会長】

事務局、回答できるか。

【藤井係長】

承知していない。

【田中副会長】

それは質問事項になると思う。

【太田会長】

今ほどの発言は質問事項として、「当初募集では提案していないが、なぜ追加募集で提案されたのか」といったかたちになると思う。他に意見等あるか。

【渡部委員】

確か提案書の 4 ページの「収入の部」に、中学生の会費が 2,000 円と非常に安い金額で記載されているが、小学生は 1 万 2,000 円であった。中学生はほとんど活動していないのではないかと思える。何でこんなに会費に差をつけているのか気になる。

【太田会長】

確かに、小学生が 5 人いて 1 人 1 万 2,000 円、中学生は 1 人 2,000 円である。

【吉田 実副会長】

「会費の差の理由」ということだと思う。

【太田会長】

「中学生と小学生の会費の差には、何か理由があるのでしょうか」といったことだ
と思う。練習に来られる回数なのか、大会の回数なのかは分からない。またその辺は、
団体の代表者より回答いただければよいと思う。

【渡部委員】

ついでに、今年度の計画を確認してはどうか。要は、新型コロナウイルスの影響が
ある状況の中で本当に試合等を行うのか、これまでも計画どおりに行っているのか等
を確認したい。

【太田会長】

今後の対外試合の予定のような「大会の予定」についての質問ということか。

【渡部委員】

そうである。

【太田会長】

自分の知り合いで高田の剣道のスポーツ少年団に入っている子どもがおり、その保
護者より話を聞いた。現在、週に1・2回は練習が行えるようになってきており、大会
も少しずつ、他のスポーツと同様に、だんだんとできるようにはなっているとの
ことである。また、その辺を詳しく聞けばよいと思う。

【吉田 実副会長】

それは共通質問とは違うのか。

【太田会長】

個別質問ではなく、新型コロナウイルスの影響に関する共通質問の中で回答しても
らってよいと思う。他に意見等あるか。

【吉田 義昭委員】

提案書を見ると、小学生5人、中学生6人の計11人だと思うのだが、構成員は14
人となっている。指導者を含めて14人なのかを確認したい。

次に、提案書には設立が昭和57年とあるため、設立から38年程となる。規約は平
成22年より施行されており10年目を迎える。このように伝統があって活動されてき
ている中で、今回、武道タイマーや打ち込み台等の購入を希望している。これらの備
品はあると便利だとは思っているのだが、これまでは所持せずに活動してきたのか、今回な
ぜ必要になったのか確認したい。先ほどの鷺澤委員の発言にもあったが、当初募集で
はなく、追加募集にて提案がされている。なぜ今、このような備品が必要になったの

かを確認したい。

次に、これまで活動してきた中で、会場費等も含めて提案してきていることについてどのような考えを持っているのか、確認したいと思っている。

【太田会長】

「会場費」「大会参加費」「昇給審査・卒団式運営費」についてか。

【吉田 義昭委員】

自分たちで賄ってきたものが急に補助事業に上がってきたので、どうのお考えなのか聞きたい。

【太田会長】

どのような文言とするか。

【吉田 実副会長】

意見が3つあったと思う。

【太田会長】

最初は「構成員について」であった。構成員が14人となっているが、小学生5人、中学生6人で合計11人であるため、役員等も含まれた人数かの確認の質問であったが、多分、指導者なのだと思う。規約に団長や会計等の人数が記載されているため、役員等が含まれているのだと思う。

【吉田 実副会長】

質問事項になるかは分からないが、1つ目の候補としてはどうか。

2つ目の意見が、「購入の必要性」についてだったと思う。

【吉田 義昭委員】

打ち込み台と武道タイマーである。

【吉田 実副会長】

それらの必要性を確認するということか。

【吉田 義昭委員】

そうである。

【吉田 実副会長】

3つ目の発言がよく分からなかった。

【吉田 義昭委員】

これまでは自費で賄ってきたにも関わらず、今回提案した理由ということである。

【吉田 実副会長】

項目で言うと何か。

【吉田 義昭委員】

「会場費」「大会参加費」「昇給審査・卒団式運営費」についてである。

【太田会長】

提案書 4 ページの収支計画等で、支出の部に記載の「会場費」「大会参加費」「昇給審査・卒団式運営費」について、要はこれまでは団の経費の中で賄ってきたものを、なぜ今回提案してきたのか、という話でよいか。

【吉田 義昭委員】

直近の会計収支決算では、年間 15 万円程度で活動してきているようだが、このたび 18 万円の補助を申請してきている。今回提案された 18 万円の内容を見ると、15 万円くらいの備品購入のほか、参加費などを含めて提案されている。ということは、もともと会費で賄ってこられた「大会参加費」なども補助額に含まれていることから、その点はどうなっているのかという質問である。

【太田会長】

「各項目の必要性を伺いたい」でよいか。補助してもらえるものは補助してほしいのだと思う。自分が団体の代表であれば、そのように思う。他に意見等あるか。

【岡本委員】

質問になるのか分からないのだが、地域活動支援事業の提案に当たって、購入品の見積りは基本的には相見積りになると思う。今回、添付されているものは 1 者のみの見積りになっている。もしかすると、剣道の道具を扱っている店が他にはないのかもしれないが。

【吉田 実副会長】

相見積りを取る基準がある。

【太田会長】

10 万円以上になると相見積りを取る必要がある。

【岡本委員】

しかし、この提案の購入品は 15 万円である。

【太田会長】

1 つの項目が 10 万円未満の場合、相見積りを取る必要はない。

【本多委員】

質問というか、疑問である。これまで継続していた事業で補助金申請をすると、必ずこのような問題が出てくる。だが、これはすべての事業に関わってくることである。事業を立ち上げた当初より補助金申請をしていけば理解できるのだが、それを「なぜ今」と聞かれても説明する提案者も困ると思う。自分なら「市から補助金が出るため申請した」程度にしか答えることができない。これまでは自費の中で何とかやり繰りしていたが、補助金がもらえるのであればと思い申請してきているのだと思う。逆に、新規で事業を立ち上げる時から申請していればすべて補助してもらえるのかとの言い方にもなってしまう。その辺の考え方を協議会委員で揃えておかなければならないように思う。「なぜ、今補助金が欲しいのか」とは、途中から申請する事業すべてに当てはまる質問である。

ただ自分はこれまでと同様に、参加費等は地域活動支援事業に補助金申請することは違うように思う。参加費等は会費の中で賄い、例えば消耗品等でどうしても欲しいものがあれば理解できる。だが、例えば大会の参加費や年会費等の項目が必ず出てきている。

【太田会長】

それは質問事項ではないということか。

【本多委員】

質問ではなく、自分の考え方の話である。

【田中副会長】

1 回目の募集の際には、黒塗りされてはいたが、構成員等の名簿があった。今回もそのような名簿等は提出してもらうことはできるのか。できるというか、必要があるか否かについて、各自どのように考えているのか聞かせてほしい。

【藤井係長】

名簿については、提案する際の添付資料として必須ではない。ただ、個人ではなく団体の提案であることを確認するために規約等の提出は必要であり、規約がない場合等に、参加人数を確認するため名簿を添付してもらうことはある。提出を願うことは可能だが、団体より提出できないと言われたとしても、支障になるものではない。

【太田会長】

大分質問事項の候補が挙がってきたため、整理したいと思うがよいか。

(よしの声)

前のホワイトボードを見ながら整理していく。

これまでに出了意見として、3番目の「今後の大会練習予定」は共通質問に入るため除く。また下の2つはまとめることができるため1つにまとめる。

1つ目「過去に申請はないが、今回申請した理由をお聞かせください」である。当初募集では提案がなかったが、今回の追加募集で申請をした理由を聞きたいということである。これを1つ目の質問事項としてよいか。

(よしの声)

2つ目は「中学生と小学生の会費の差の理由をお聞かせください」である。

3つ目の「今後の大会練習予定」については新型コロナウイルスの関連した共通質問に入ると思うため、個別質問では挙げないこととしたいと思う。

次の4つ目「構成員が14人となっており小学生5人、中学生6人で残りの3人が不明なため、指導者なのか、構成員について確認したい」との内容である。

5つ目「タイマー・打ち込み台の必要性、会場費登録料を申請する必要性」等をまとめて「各申請項目の必要性は」とまとめて挙げている。

以上の4つの質問にまとめたいと思うがよいか。

(よしの声)

では「春-追1」の質問事項は4項目とする。文言に関しては、事務局と正副会長で調整のうえ、まとめたいと思う。

では次に高志小学校後援会からの提案である「春-追2 高志地区・安全・安心見守りパトロール事業」の質問事項の検討に入る。補助希望額が28万4,000円であり、のぼり旗、のぼり竿、防犯ベストの購入申請である。この事業の質問事項について意見を求める。

【田中副会長】

高志小学校後援会の決算中間報告書が添付されているのだが、当初募集で楽器の購入申請があった。自分も町内会で後援会費を一部支払っている。学区内の世帯数が増えていると思うため、後援会の会計収支の金額は多分上がっていると思う。防犯は大事なのだが、今回、申請を出さなければいけなかったのか疑問である。もし高志小学校の後援会関係者がいたら、後援会費の収支の内容等、簡単に教えてもらえるとありがたい。

【太田会長】

委員の中に高志小学校後援会の関係者がいて、決算の中間報告について分かれば教えて欲しいということか。

【田中副会長】

そうである。後援会の委員は町内会長であるため難しいと思うのだが、答えられる委員はいるか。

【渡部委員】

若干関係していると思うのだが、今回の提案は新規提案なのか、今までの備品の更新提案なのかがはっきりしていない。新規であれば田中副会長の考え方にプラスして、よい機会だから揃えようとの発想で提案をしたのか、どうもそれがはっきりしていない。また帽子はいらないのか。

【太田会長】

高志小学校の関係でいろいろと役割を担われていると思うため、市川委員に発言願う。

【市川委員】

今回の追加募集でいろいろと提案しているが、昨年度も同じような提案をしている。昨年は約 36 万円の提案を行ったが、ベストが減額となり約 18 万円の補助となった。

今年度 4 月の当初募集の際にも提案するとの話もあったようであるが、担当の教頭先生が異動により代わったため、提出が間に合わなかったとのことである。

いろいろと記載されているが、新潟市の JR 越後線で起きた悲惨な事件が報道され、文科省や県の教育委員会からもいろいろな通達が出ている。高志地区町内会長は 9 町内、滝寺が入って 10 町内になる。プレゼンテーションの際に資料を出してくると思うのだが、その中で統一したものを作り活動しようと立ち上げた内容である。先走って言うと、地域を挙げていろいろな活動を行っている。ベストはないが、帽子は昨年作成している。青少協も同様であるが、のぼり旗も 1 年経過すると風化して傷みがかなり激しい。何とか各町内会に 5 本ずつ渡しているのだが、交換できるものが必要ということで、今回の数を上げてきている。高志小学校区・地域を挙げて行っているため、本当は春日地区の青少協と一緒に、春日中学校区で統一した行動を取ることができればよいのだが、なかなか難しい。そのため、とりあえずは高志小学校区の後援会で提案したが、今、青少協やいろいろな関係で意見を出し合っているところである。今回

は昨年採択されなかったベストをどうにかしたいと考え、提案したということだと思います。ただ後援会費については、自分も今年代わったばかりであるため詳細までは分からないのだが、収入は「世帯数×金額」で出しており、それほど変動はない。だが今度、市民プラザ周辺の新しい団地ができれば、土橋町内の後援会費が大きく変わらと思う。毎年それほど金額が変わるものではない。

【太田会長】

新規ではなく更新ということによいか。

【吉田 実副会長】

昨年の提案では、ベストは却下されている。

【市川委員】

ベストについては、昨年の提案で否決されている。帽子も昨年の補助金で購入したが、各町内会にすべて配布し、現在は集団下校時や、朝晩の立哨活動時に使用している。

【田中副会長】

今ほどの市川委員の話は理解できた。県でも防犯については、一生懸命に取り組みましようといった感じではないのか。それに関して言うと、例えば、高志小学校、春日小学校、春日中学校で一緒にいろいろなものを同じように作ることでできれば、ベストなのだと思う。だが、先に作った高志小学校と同じデザインにするのかは不確かであるため、統一されないことに不安がある。統一されるのが一番大事なのではないかと話を聞いていて思った。個々に用意したいとの気持ちは分かるのだが、いざ本当に地域全体で活動を始めるとき、例えば全員が同じベストにするとすると、先んじて作成してしまうのはいかなものかと感じてしまった。

【市川委員】

プレゼンテーションの前に自分がすべて話してしまっただけでは、プレゼンテーションに参加する教頭先生が話しにくくなってしまわないかと思う。現在、皆さんご存知のように、児童の見守り活動はこの学校区でも行っている。特に自分が知る限りでは、雄志中学校区・春日新田小学校区は父兄・地域を挙げて、非常に活発に行っている。ただ今ほどの発言にあった「統一がとれないのではないか」ということについては、「統一しなさい」との制約はない。ただ、小学校区で今回のベストやこれまでの用具等にも校章を入れているため、高志小学校区のみのもを作っているわけである。

そのため、中学校区で統一しなさいとの話になれば変わると思うのだが、まだそこまでの話にはなっていないと思う。この活動は2年ほど前に立ち上げたばかりであり、各町内会に20年ほど前に作ったオレンジのベストや帽子はあるかと思うのだが、それまではそれを使用して活動していたと思う。今回、新しく行うに相応しいものを作ろうということで提案していると思う。今、自分がいろいろと話してはいるが、プレゼンテーションには教頭先生が参加するため、話が違って来る可能性もあることを了承してほしい。

【太田会長】

他に意見等あるか。

【谷委員】

この活動は、春日小学校区でかなり先行して推進されてきた。高志小学校区は少し遅れて、これからの活動であるため、春日小学校区で行っていることも参考にしながら、活動の遅れを取り戻してほしいと思う。

【太田会長】

他に質問事項はあるか。

【鷺澤委員】

高志小学校後援会の見守りパトロール事業については、去年、一昨年くらい前から提案されている。最初に採択した内容は、首から下げる吊り下げ名札を作成し、全世帯に配布するというものであった。名刺大の名札をつけ、登下校時や犬の散歩時に、子どもたちに挨拶をするというものであった。その吊り下げ名札の作成を一昨年に採択したのだが、残念ながら、自分は使用している人を1人も見たことがない。

【太田会長】

質問事項について発言願う。

【鷺澤委員】

例えば、高志小学校の保護者会ではグリーンのベストを借用して見守り活動を行っている。町内会には先ほど市川委員より発言があったように、オレンジのベストがある。また青少協ではのぼり旗を作成している。そういった中で、具体的にのぼり旗やベストを利用して、後援会独自でどのような活動をしようとしているのか、基本的に理解ができない。提案書に実施方法が記載されているのだが、これは2年前の内容と全く同じである。ベストを活用した具体的な実施方法について詳しく教えていただきたい

い。今回の提案で購入を希望しているものを使って、どのような活動をしていくのか教えていただきたい。

【太田会長】

「今回の購入品を活用した具体的な事業計画を出してもらいたい」でよいか。

【鷺澤委員】

よい。

【太田会長】

自分も1つ質問したい。自分は長年、春日地区でPTAや青少年育成会議の活動をしている。本当にこれが大事な活動だということは分かるのだが、春日小学校では、自分の24歳の子が入学したときには、地域活動支援事業のようなものを活用せずに、すでに見守り活動が行われていた。このような物品はすごく大事だと思うのだが、今回のプレゼンテーションを聞き、どこまでを採択できるのか分からないのだが、補助金を当てにするといい方はおかしいのだが、後援会の自主財源も盛り込んで実施することはできないのか、今回の地域活動支援事業がなければのぼり旗やベストを作成することができないのかを確認したい。すごく大事なことだと思うため、後援会の自主財源の一部でも予算付けをすることはできないのかといった文言で検討したい。大事なことであるため、なるべく支援はしたい。だが、いつまで地域活動支援事業があるのかも分からないため、補助金がなくても活動できるような後援会になって欲しいとの想いで発言した。他に意見はあるか。

【市川委員】

先ほど鷺澤委員より、吊り下げ名札を使用している人を見たことがないとの発言があったが、立哨している人は必ず、黄色いネームの入った名札を首からぶら下げている。木田町内会は分からないが、自分の町内会では必ず玄関先に名札を置いておき、ゴミ捨てに行くときにも必ず首からかけるように協力を願っている。また子どもの下校時間には、できるだけ犬の散歩や畑仕事、近所へのお茶飲みでもよいため、近所に出て子どもたちの見守りをお願いしている。立哨活動については、現在1日、11日、21日に日を設定して行っている。新光町の場合は2ヶ所あるのだが、木田町内会の高速道路近くの「やさしえ上越」の交差点に町内会長が毎朝立っている。また高野整形外科の交差点でも藤巻町内会の人立哨している。その他にもいろいろな所で皆さんが立哨しており、朝7時20分頃から7時50分頃まで立哨しているため、ぜひその姿

を見て、首から名札を下げている状況を確認してほしい。全員が吊り下げ名札を使用しているわけではないと思うが、各家庭に配布してあるため、使用についてはある程度の協力を願っている。やるやらないは強制できない。

【太田会長】

まとめてもよいか。

(よしの声)

今回は委員の中に提案団体の活動に詳しい人がいたため、提案書に関する質問をする前に、ある程度疑問が解消した部分もあったと思う。

意見としては3つの質問事項が挙がっている。1つ目は解決したため、除外してよいと思うのだがどうか。

【渡部委員】

自分が発言した趣旨は、多分「見守り隊」はずっと行っているのだと思う。今回新たに各町内会に統一したものを揃えたいということなのか、今使用している備品が古くなったための買い替えなのかを確認したいということである。

【太田会長】

活動を行っていることは分かるのだが、購入理由を確認したいということか。

【渡部委員】

活動を強化するために見て分かるものを今回新たに行おうとしているのか、地域活動支援事業の予算が余ったため購入しようとしているのかは分からない。

少しだけ余談である。自分は交通安全協会春日支部の仕事を行っており、先日の交通安全運動の際、実際に活動していることをしっかりと確認した。逆に心配なのは、立哨している人たちが道路の中にまで出て見守りをしていた。そのため、立哨していた人すべてに注意をしたのだが、あんまり行き過ぎるとかえって危ないということがある。これは別の話ではある。ただ自分が言いたかったことは、今回活動をもう少し強化するために、ユニフォームを揃えるというようなことなのか否かを確認したいということである。

【市川委員】

先ほども補足したように、今回、校章入りのベストを新たに作るということである。これまでも各町内会で防犯ベストを所有しているのだが、高志小学校区・高志小学校後援会としてぜひ新たな統一したものを作って活動しようということである。

【太田会長】

では質問は削除してよいか。

(よしの声)

【鷺澤委員】

市川委員に質問である。今回購入するベストは校章入りということで、全く新しいものだ理解できた。ただ保護者会ではグリーンのベストを着用して、見守り活動等を行っている。それと類似したものになるのか。別のものになるのか。

【市川委員】

今ほどの鷺澤委員の発言にあったベストは、PTA が活動の際に使用しているものである。毎日 2 人ぐらいつつ、日を決めて行っている活動であり、今回の提案とは違うものと考えていただきたいと思う。これは各町内に配布をして、協力をしていただくためのベストであり、PTA のベストとは全然違うものである。

【太田会長】

提案書の実施方法の④には、「高志小学校 P T A 安全安心パトロール活動と連携して取り組む」と記載されているため、別物なのだと思う。

【市川委員】

そうである。

【太田会長】

団体が違う。その辺は、具体的な活動計画の中で何か返答があるように思う。

ではまとめに入る。1 つ目の質問事項、新規案件か否かについては今ほど市川委員より補足説明がされたため削除とする。

次に、先ほど鷺澤委員より発言のあった、今年度になるのか来年以降になるのか、どちらにしても、「もう少し詳しい具体的な活動計画を教えて欲しい」というものである。

もう 1 つが、先ほど自分が発言した、「補助金がない場合、自主財源での活動が可能か否か」についてである。

【田中副会長】

太田会長が発言した内容は、「ない場合」ということではないように思う。一部を自主財源で負担する考え方ということだと思う。

【太田会長】

そのとおり。自主財源でも活動してもらいたいということである。文言については、改めてまとめたいと思う。

今ほど、2つの質問事項が挙がってきている。高志小学校といろいろと関りがあるということで市川委員より補足説明があったが、それも踏まえた中で、他にプレゼンテーションの際に確認したいことがあれば発言願う。

(発言なし)

では「春-追2」は2つの質問事項とする。

では最後に「春-追3 中学生の音楽による地域の絆づくり支援事業」、春日中学校の吹奏楽部の楽器の購入提案である。補助希望額は117万円である。「春-追3」の質問事項について、発言を求める。

【田中副会長】

春日中学校の楽器購入について、前もって事務局に、過去の経過の説明を依頼している。

見積書について事務局に確認である。双葉商事と中嶋和楽器店より見積りが出ているが、中嶋和楽器店はコピーが薄いためよく分からない。きちんとコピーすることはできなかったのか事務局に確認したい。

次に楽器類は、昔だと双葉・ヤマハ・カワイといろいろな店があったのだが、中嶋和楽器店しかないのか、何か比べる方法が違うように思い疑問に感じた。

事務局より春日中学校の過去の楽器購入について説明願いたいと思っている。

【藤井係長】

過去のデータを確認したところ、平成24年度の追加募集において、楽器の整備・購入で494万4,000円が採択されていた情報があった。8年前のことであるため手元に資料がなく、詳細な内容までは分からなかった。

次に見積書のコピーについてである。提出された見積書の写し自体の文字が薄かったため、金額が分かるよう欄外に書き加えたのだが、もう少し工夫の余地があったかもしれないと反省している。以後気を付ける。

【太田会長】

今の発言については、事務局の説明で解決したため質問事項とはしない。改めて質問事項について発言を求める。

【鷺澤委員】

田中副会長の質問についてである。以前提案されたのは、確か春日中学校の30周年記念の際だったと思う。高校等でも周年記念等で普段買えないものや部室を作ったりする。春日中学校も30周年記念の寄付金だけでは足りないため、吹奏楽部を援助してほしいということで、494万円と非常に高額ではあったが採択した経緯がある。それから8年が経過しているのだが、その間は一切提案がなかった。吹奏楽を行っていくうえで、保有しているものと違う楽器や高価な楽器が必要なのは理解しているのだが、その辺の説明を願いたい。

次に、当初募集の高志小学校・春日小学校からの提案で、楽器の修理代が話題になったかと思う。小学校では年間30万円ほどを部費や後援会費から捻出していると説明があった。修理代について、中学校ではどのように捻出しているのか確認したい。

【太田会長】

他に発言を求める。

【渡部委員】

先ほどの話と関係するのだが、質問ではないが、和楽器店の見積りを提出してもあまり意味がないような気がしている。事務局は提出された際、和楽器店の見積りではまずいのではないかとといった指導をしてもらわなければ困る。他に洋楽器店がなければ別である。

改めて自分が質問したいことは、約10年の間にどのような楽器を購入したのか、経緯を教えてもらいたい。以前、自分が町内会長をしていたときに後援会費が高額だと言ったことがある。自分の子どもたちは小学校も中学校も関係がなくなったにも関わらず、後援会費が高いと感じた。その理由の1つとして、楽器等を定期的に購入していくとの説明があった。高いと言っても他とは比べていないため、言い過ぎかもしれない。ただ、そのような説明があったため、最近はどのような楽器を購入しているのか確認したい。反対するつもりは全くないのだが、そのような経緯があり、また今後楽器の購入をどのような方針で進めていくのかが見えてこなければならぬと思う。小学校と同じことではあるのだが、もし差支えなければ、最近10年ほどの購入履歴を知りたい。また今回、かなり高額な楽器の購入を希望しているため、購入を希望した経緯も知りたいと思う。追加募集である割には、かなり高額な楽器の購入していたため驚いた。

【太田会長】

ここ数年の実績と今後の予定という感じでよいか。

【渡部委員】

そうである。

【吉田 実副会長】

これまでの経緯と今後の予定でよいと思う。

【吉田 義昭委員】

ついでに、過去 10 年ほどの購入実績のリストの提出と、修繕費を確認してはどうか。年数が経過すれば修繕費はかなりかかるのだと思う。そのため、その実態を掲示してもらえれば、今後楽器購入の提案が出てきた際に、それに当てはめて考えることが出来るため、自分たちも判断がしやすいと思う。

【太田会長】

楽器の購入実績と修繕の実績を確認するということか。

【渡部委員】

あまり細かいことを確認することはよくないように思う。

【太田会長】

確かに、あまり細かく提出願うことも大変だと思う。

【吉田 義昭委員】

購入リストと修繕リストを提出願ってはどうか。

【渡部委員】

記憶が定かではないのだが、小学校の提案で楽器は何のときに使用するのかといったことが話題になったと思う。「授業では使用しない」「授業で使用するものについては教育予算で購入する」といった内容であったと思う。そういったことはどうなるのか。

【太田会長】

この提案に関しては、吹奏楽の部活で使用する楽器の購入を含めた提案であり、音楽の授業等で使用するものではない。

補足である。春日中学校の 30 周年記念の際、自分は PTA 会長を務めていた。皆さんに協力いただき、その際に多くの楽器を買わせていただいた。だが、多分そのあとは大きな予算はなかなか付かず、少額なものであれば購入できているが、高額な楽器は購入できていないのだと思う。購入実績のリスト等を出してもらえば、

その辺はわかると思う。小学校の楽器購入の際にも、同じような質問事項で学校側より返答を得たと思う。他に意見等あるか。

【渡部委員】

提案書に記載されている今後の予定は、新型コロナウイルスの影響がある中でも実施されるのか。

【太田会長】

提案書に実施スケジュールとして記載されているため、実施される予定なのだと思う。

では質問事項をまとめる。楽器の修理代と、ここ数年の楽器の購入実績また今後の予定をリストで提出願う、との2つを質問事項としてよいか。

(よしの声)

【鷺澤委員】

単純な質問である。今、提案書を見ていて気づいたのだが、3 ページの実施スケジュールで、11月に楽器整備（助成金交付後ただちに）とある。つまり地域活動支援事業に採択された場合、ただちに修繕代を出すという意味か。

【太田会長】

修繕ではなく、採択された場合には2つの楽器を購入したいということだと思う。

【鷺澤委員】

楽器整備と記載されている。

【太田会長】

多分、文言の書き方の違いだと思う。楽器購入だと思うため、そのように理解してよいと思う。一応、提案者に確認するか。

【鷺澤委員】

確認しなくて大丈夫である。

【藤井係長】

楽器購入ということだと思う。

【太田会長】

3事業及び全体で質問事項等、他にあるか。

(発言なし)

追加募集に提案された3事業について、質問事項を簡単にまとめた。最終的な文言

については、事務局と正副会長でまとめたいと思っているため了承願う。

次に、資料1に基づき、今後の日程を調整する。資料1を確認してほしい。本日、⑥の第7回地域協議会（個別質問の確定）を行い、ある程度まとまった。こちらの文言を事務局と正副会長にてまとめ、提案者に送付したいと思っている。提案者より回答の準備をしていただき、⑨の第8回地域協議会を10月16日（金）にプレゼンテーションを行う。改めて事務局より案内文を送付する。提案事項が3件であるため、プレゼンテーション終了後に意見交換を行いたいと思っている。その日に採点票を持ち帰り、⑪の10月26日までの1週間程度で採点票を提出願う。

本日は審査・採択を行う「⑭ 第9回地域協議会」の日程を調整したいと思う。

－ 日程調整 －

・第9回協議会：11月6日（金）市民プラザ（予定）

以上で次第3議題「(1) 協議事項」の「① 地域活動支援事業（追加募集分）の審査に係る個別質問の確定について」を終了する。

次に、次第3議題「(1) 協議事項」の「② 今後のスケジュールについて」事務局より説明を求める。

【藤井係長】

・資料2に基づき説明

【太田会長】

今ほどの説明に質疑を求める。

（発言なし）

今年度は委員の改選があり、初年度ということで地域活動支援事業の中身についても本当にいろいろな意見をいただいた。今後、次年度に向けてルール決めや整理等をしていくことが第一だと思っている。第10回・11回の地域協議会では、そちらを重点に審議していきたいと思っている。

今後のスケジュールについては、資料記載のとおりとしてよいか。

（よしの声）

以上で次第3議題「(1) 協議事項」の「② 今後のスケジュールについて」を終了する。

次に、次第3議題「(3) その他」について事務局より説明を求める。

【藤井係長】

前回の地域協議会にて鷺澤委員より質問のあった内容について、現在の状況を回答する。

まず、春日山荘について担当課に確認をした。現状としては、昨年度の説明のとおり、高齢者の趣味講座は機能としては維持したいということで、代替施設を検討しているが現在もまだ検討中とのことである。春日山荘への補助も行いながら、引き続き検討している状況である。

次に、前期地域協議会委員を対象に実施したアンケート調査の結果については、まだ取りまとめの途中とのことである。結果がまとまり次第、地域協議会へも報告させていただくとのことであるため、情報が入ったら報告する。

【太田会長】

何か質問等あるか。

【渡部委員】

春日山荘については、令和3年度で閉鎖することが決まっているのか。

【藤井係長】

これまでの経過として、春日山荘の運営は上越市社会福祉協議会が行っており、市が補助を出しているかたちである。ただ、高齢者の趣味活動の支援を継続するための代替施設を検討している途中であり、まだ検討結果がまとまっていないため、現時点では、いつやめるというところはない。

【渡部委員】

自分は別件で関係しているのだが、閉鎖を前提にいろいろな話がきている。閉鎖することはまだ決まっていないのか。

【藤井係長】

上越市社会福祉協議会に補助して事業を実施していただくかたちではなく、別の施設で講座等が実施できないかといった検討はしている。だが、現状ではまだそれが見通せない状況であるため、閉鎖も可能性としてないわけではないのだが、今はまだ検討中ということである。

【太田会長】

他に質問等あるか。

(発言なし)

以上で次第3 議題「(3) その他」を終了する。

次に次第4「その他」の「(1) 次回開催日の確認」について事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・ 次回の協議会：10月16日（金）午後6時30分から 上越市役所 4階 401会議室
- ・ 内容：プレゼンテーション、意見交換

【太田会長】

最後に何か発言のある委員はいるか。

【渡部委員】

時間が延びて申し訳ない。事前配布された「～28区のまちづくり～もっと知りたい地域協議会」のチラシについてである。これはまちづくりセンターでは全く関与していないのか。

【藤井係長】

各まちづくりセンターは関与していない。

【渡部委員】

上越市まちづくり市民大学OB会との団体は何なのか。自分は勉強不足でありよく分からないのだが、このようなチラシが入っていると、新人としては行かなければならないものなのか分からない。関心があれば参加してほしいということか。

【藤井係長】

市で後援しているため周知したものであるが、必ず行かなければならないということではない。「上越市まちづくり市民大学OB会」は、市の施策について、それぞれに考えを持って取り組んで勉強している方の集りで、地域協議会についても考えを持って話をしているということだと思っている。関心ある委員は参加されてはどうかと思っている。

【渡部委員】

自分は今年初めて委員になったため、よく深く理解していないところもある。それで勝手なことを言ってよいものかと思っている。本来こういうものについては、今更無理ではあるのだが、始まる前に勉強会をすればよかったような気がしないでもない。チラシには「新人になった人は」みたいな記載がされていたため悩んだ。

【谷委員】

春日謙信交流館で毎年行っている「元気の出るふるさと講座」で、地域協議会でも支援を決めた「えちご謙信きき酒マラソン事業」について、春日区の事業として公民

館が取り上げ、この団体が10月13日の9時半から11時半に講演というか懇談というか、経緯を発表される。この事業についてより詳しい説明が聞けると思っている。春日山を起点とした仮装マラソンという特殊なものであるため、平日であり難しいかもしれないが、時間がある委員は参加してほしいと思っている。

【太田会長】

配布資料には入っていないものか。

【谷委員】

春日謙信交流館に置いてある資料である。

【太田会長】

告知ということでよいか。

【谷委員】

そうである。

【渡部委員】

別の話であるが、当初募集で採択した事業に、フリーペーパーのcocolaに掲載するという提案があった。手元にcocolaを持ってきているが、今回掲載されているものが採択した事業なのか。これではなく、次号に掲載されるのか。

【藤井係長】

今回のものである。

【渡部委員】

お願いである。せっかく地域協議会委員をすることになったため、例えば「何の事業がいつある」といったことを教えてほしい。「きき酒マラソン」の場合には、多分いろいろなところから情報が来ると思うのだが、知っていれば「聞いてみよう」「見てみよう」といった気にもなると思う。わざわざ文書で配布までは必要はないが、開催日等を周知してほしい。

【太田会長】

地域協議会の際に、「この事業が終了した」「いついつこの事業が行われる」といった告知等があればということか。

【渡部委員】

cocola もそう思って読むとまた違うと思う。あと、記事を掲載する際に、「地域協議会の補助金を使用して作成」といった文言は入れなくてもよいのか。

【太田会長】

正副会長の事前協議の際にも、文言が入っていないため実績報告の際にそのようなことも指摘しなければいけないのではないかといった話があった。今ほどのような意見等があれば、時間のある時に発言してほしい。また地域活動支援事業についても、採択した事業の活動報告や実績報告、予定等々もわかれば、少しずつ報告していきたいと思う。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。